

### ||新年のごあいさつ



栃木県薬事工業会  
会長 飯高 紘一



明けましておめでとうございます。

皆様にはお健やかに輝かしい新年を迎えたこととお慶び申し上げます。お陰様で当会も県、薬務当局の適確なるご指導のもと種々事業活動は順調に推移しています。そして薬用植物業務において栃木県で生まれ、薬用植物学、生薬学を専攻され勲四等瑞宝章を受賞された故伊澤一男先生の遺品の植物標本等は「植物の父」牧野富太郎博士を記念して開園している牧野植物園に寄贈し後世に伝えていただくことになり、又、書籍類は栃木県立博物館を中心で保存していただき県民の皆様に活用してもらうこととなりました。

昨年は米同時多発テロなど衝撃的な事件が勃発し経済的混乱が全世界に及びその影響で世界同時不況の色が濃くなりつつあります。今年は希望に満ちた明るい年でありたいと念願していますが、業界を取り巻く環境は国際化の進展、科学技術の進歩、規制緩和の推進など大きく変化しており、社会保障制度改革、医療制度等抜本的改革が進むと考えられます。このような状況下で栃木県薬事工業会が果たすべき役割、責任を十分認識し、会員相互の研鑽と連携を深め健康と福祉に貢献する県の基幹産業の一つとして発展していきたいと思います。会員各位、県薬務当局の一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

皆様方のご多幸を祈念し新年のご挨拶といたします。

### ||新年のごあいさつ



栃木県保健福祉部薬務課  
課長 小林 晓弘



謹んで新春のお慶びを申し上げます。

栃木県薬事工業会の皆様には新しい年をお健やかにお迎えのことと存じます。

昨年中は、薬用植物事業・災害用医薬品等の備蓄事業・公衆衛生学会への発表等薬務行政全般に渡り、御協力と御支援をいただき厚く御礼申し上げます。お陰をもちまして本会も全国のトップクラスの生産額を上げ順調に推移しています。また、生産工場の増築を進める会社も多く益々の御発展を心から祈念するところです。

さて、2002年の新しい年、西暦の数字からも調和のとれた和やかな年にと思いますが、昨年の狂牛病事件やテロ事件を考えると何時事件が発生するか予測できない時代となっています。その事件により思いがけない損失を負うこととなり、厳しい状況に置かれる企業も少なくは無いはずです。今後、益々「危機管理」が企業の重要な仕事となり、対応できる人材の育成も必要になってきます。しかし、最終的には、管理者の決断が決定することとなります。2002年はそんな決断を迫られない様な安全な年にしたいものです。

最後になりましたが、会員皆様には、健康に御留意の上、昨年同様に本会の発展に御協力をお願いします、新年のご挨拶といたします。

# 県外優良施設研修会

平成13年10月2日(火)・3日(水)にかけて、  
山本貴金属地金(株)高知工場・高知県立牧野植物園を視察研修しました。

## 視察研修会に参加して 山本貴金属地金(株)高知工場

持田製薬(株)大田原工場長 畠 誠七

去る10月2日、3日の両日に渡り、栃木県薬事工業会恒例の県外優良施設視察研修が実施されました。

本年度は参加者総勢約30名にて高知県香美郡に位置する山本貴金属地金株式会社高知工場および分析センターを見学させていただきました。

ニューヨークにおけるあの悲惨な航空機テロ事件が勃発した直後だけに、一部では航空機の利用について変更要望の声もありましたが、地理的な関係から変更することが困難であるため、予定通り羽田から高知空港まで航路での移動となりました。当日は澄み渡るばかりの秋空に恵まれ、機内から見下ろす海岸線や山並みはまさに絶景。航空機による移動の不安感も一気に払拭され、ひと時のすばらしいフライトを楽しむことが出来ました。空港到着後の昼食では、地元土佐名物の“かつおのたたき”を堪能し、身も心も満たされながらチャーターバスにて視察先まで移動しました。

視察先へ到着すると、工場や分析センター等の建物は山の斜面に沿って建てられており、周囲は緑に包まれ、また、近代的建屋の色調も環境にマッチした非常にすばらしい工場であると感じられました。

見学に先立ち、総務室長の中道様から、会社概要についてプレゼンテーションをお受けしました。山本貴金属地金株式会社は1957年に創業し、主な事業として貴金属（金・銀・白金、パラジウム等）の地金の売買、加工の他、歯科用貴金属合金の製造及び販売を手がけております。特に、歯科治療用貴金属では国内第二位のシェアで、自由診療で使われる陶材焼付け用合金ではトップシェアを誇っているとのことでした。

最初に金や銀の精製工場から見学させていただきましたが、木造の建屋と大きなガラス製の容器には、正直なところ違和感がありました。しかしながら、木造建築やガラス素材容器は、精製過程で使用する王水等の強酸の腐食から守るには必要不可欠であるとの説明に大きく頷かされました。

更に、貴金属の品位分析の為のプラズマ発光分光分析装置、走査性電子顕微鏡等数々の分析装置を兼ね備えた分析センターでも詳しい説明をしていただきました。

今回の見学で特に感銘いたしましたのは、歯の表面素材であるセラミックスあるいは樹脂に対する商品開発への意欲的取り組みです。いかに天然の歯に近いものを作り上げていくか、大変な努力がなされていることが推察されました。

私を含め、今回の参加者一同は、業務内容は異にしてもトップシェアメーカーとしての誇りに満ちた製造への取り組み姿勢や商品開発に対するたゆまぬ努力に大きな感銘を受けました。また、自社における取り組みにおいても非常に参考になるものが得られ、大変有意義な視察をさせていただいたと感じております。山本貴金属地金株式会社様の今後ますますのご発展を願ってやみません。

最後に、我々の視察の為に貴重な時間を割いていただきました山本貴金属地金株式会社様を始め、今回の企画にご尽力いただきました業務課の皆様、更には実行委員の方々に深く感謝いたします。



YAMAMOTO



## 視察研修会に参加して 高知県立牧野植物園

ジェーピーエス製薬(株)木工場長 佐藤 繁喜

10月2日、3日と高知県にて研修を行い、2日目は高知県立牧野植物園でした。木工場として薬用植物業務を平成12年度から取り組んできましたので、今回の研修地として高知県立牧野植物園を選択されました。また、上三川町出身で星葉科大学名誉教授伊澤一男先生の遺品取り扱いも業務の一環です。

その遺品の一部（植物標本）が牧野植物園で有効利用していただく事が決まり、その確認もありました。ご存知のように牧野植物園は偉大な植物学者の牧野富太郎博士に由来し平成11年に牧野富太郎記念館を新設しさらに立派な施設となりました。植物園、牧野文庫、記念館からなり植物学研究、植物標本保管・管理も行っています。

日本における植物標本保管・管理については以前NHKテレビで放映されましたが、特に国立大学は予算の関係で手が回らず整理が行き届いていないのが現状で貴重な標本もアメリカ等に送って外国で管理されているようです。このような国内状況の中、牧野植物園は日本の標本は元より外国の標本まで収集し、交流をしています。伊澤一男先生の遺品の中に先生自ら山野を歩き集めた貴重な標本（錯葉）が17,000点ありましたので、ご子息の意思により牧野植物園に寄贈されることとなりました。搬入した標本はマイナス30℃で4日間保存し虫、虫卵を駆除した後台紙（中性紙）に固定し、伊澤先生のオリジナルラベルと牧野植物園のラベルを張り、且つ管理されて諸外国に情報として発信されています。標本が日本の植物学研究者に有効に活用されるように、整理・保管されている様子が今回よく確認できました。木工場から輩出した伊澤一男先生の標本（錯葉）が世界的レベルで使用されますことは、県民にとっても誇りではないでしょうか。



視察風景（館内にて）



伊澤一男博士寄贈標本

他県に寄贈という少し寂しい思いをしましたが、これまでの検討経過を振り返れば落ち着く所に落ち着き、また伊澤一男先生ご子息にお聞きしましたところ伊澤先生御夫妻ともに牧野富太郎博士のお弟子さんとのことであり、大先生の植物園に保管されることも縁のある事と納得しました。スライド等の遺品情報も電子化され木工場での活用も可能のようです。県内専門家にも還元され、有効利用される事と思います。

今回この研究会に参加し改めて植物（薬用植物を含めた）の貴重さと標本・管理に携わる研修者の少ない事も知り、感銘を受けました。

牧野植物園の田中先生、保健福祉部薬務課の方々並びに幹事の方に大変お世話になりました。感謝申し上げます。



園内を御案内いただいた  
田中 伸幸(たなか のぶゆき)先生

### 【略歴】

- 1971年 東京生まれ
- 1997～1998年 シンガポール国立大学  
理学部植物学教室留学
- 2000年3月 東京都立大学大学院理学研究科  
博士課程修了
- 2000年4月～ 高知県立牧野植物園研究員
- 2001年4月～ 日本大学生物資源科学部非常勤講師

### ほっと一息…

#### 【魔法薬の教科書】

自動車の修理工が、車を修理するように、ヒトは病気を治すことができるようになるのだろうか？ヒトの核ゲノムが解明され、少しずつ人類は、ヒトの設計図を手に入れつつあるのか？

最近、魔法使いのハリーポッター少年の物語がブームであり、この少年が使用する魔法学校の教科書まで市販されている（私の教科書同様落書きやメモまで付いて）。今は、「クイディッチ今昔」と「幻の動物とその生息地」のみであるが、魔法学校には当然「魔法薬」なる授業もある。何でも治せる薬があるなら、この教科書を見てみたいと思うのは、私だけだろうか。

薬務課 Kyouko.H



# ここで一句。

県外優良施設視察研修会の際に会員の皆様に句を詠んでいただきました。ご協力ありがとうございました。大変力作揃いで全てご紹介できず残念です。ここで一部を紹介させて頂きます。（順不同）

桂浜 竜馬の大志見届けり

グラクソ・スミスクライン㈱  
三ヶ尻 修様

フレモコウ 高知と栃木を結びけり  
(注)フレモコウ：生薬名、漢名は地榆。止血剤に使用。

ジェー・ピー・エス製薬㈱ 佐藤 繁喜様

オミナエシ風にたなびく五台山  
植物園に栃木見るなり

ジェー・ピー・エス製薬㈱ 庄司 雄三様

下野のたから迎える五台の山は  
いごつそがぜいを尽くした理想郷

栄研化学㈱ 石橋 嘉一郎様

五台山 眼下の本草土佐の風

久光製薬㈱ 谷口 恭章様

十五夜に石の丸さの桂浜

保健福祉部業務課 小林 晓弘課長

名月を石に宿して 桂浜

保健福祉部業務課 高山 尚志副主幹

木や草の心知りたる富太郎  
牧野の里にそぞぐ月光

保健福祉部業務課 林 恭子主査



桂浜 坂本竜馬像前にて

## 災害備蓄医薬品について

薬務課薬事審査担当 主任 小林 貴子

今年度備蓄の担当をしております小林です。どうぞよろしくお願ひいたします。

本県では災害に備え医薬品等を栃木県医薬品卸協会、栃木県薬事工業会、県立がんセンター、済生会宇都宮病院に備蓄しています。医薬品卸協会には医療用医薬品を128薬効分、衛生材料を62種類、薬事工業会には避難所に避難した被災者のための家庭用常備薬（風邪薬、胃腸薬、カイロ等）を19種類、2ヶ所の病院には計25薬効の医薬品を備蓄しています。それ

ぞれの備蓄のスタートは、医薬品卸協会が一番古く昭和62年4月1日からで、茂木の水害を教訓にしたもので。次に古いのは病院備蓄で、神戸の震災を教訓に平成9年2月19日からスタート。そして、平成10年8月末に県北地区に発生した大雨災害により、避難用常備薬の備蓄が平成11年4月1日からスタートしました。病院以外の備蓄については県内を県央、県南、県北の3ブロックに分け、災害により1ブロックが機能できなくなっても残り2ブロックで必要な種類、数量をまかなえるようになっています。また、医薬品等の特性上使用期限があることから、ランニング備蓄方式をとっています。また、備蓄品目の流通状況が変化しランニング備蓄が難しくなった場合は、同一同薬効の品目であれば変更しても支障はありませんが、災害時に必要な医薬品が在庫切れということのないよう、常備備蓄をお願いしたいと思います。

災害は起きないにこしたことはありません。しかし、起きてしまった災害を教訓に体制を整えることは大切です。本県での災害用備蓄業務も起きた災害、被災者の声を教訓に作られてきました。これからも皆様と協力をしましてよりよい体制を作っていくたいと思いますので御協力をよろしくお願いいたします。



工業会に準備してある災害備蓄医薬品

# 平成12年 医薬品及び医療用具の生産金額について

厚生労働省の薬事工業生産動態統計によれば、平成12年における栃木県の医療用具生産金額は1,586億円で、前年1位だった東京を抜き、全国第1位の座を獲得しました。

また、医薬品生産金額は3,295億円で4年連続で第5位となりました。

## 医薬品

順位	都道府県名	生産金額	
		12年	11年
		【百万円】	【百万円】
	全 国	6,182,631	6,290,023
1	大 阪 府	862,508	887,822
2	静 岡 県	697,439	649,317
3	埼 玉 県	611,686	689,034
4	神奈川県	413,974	437,801
5	栃 木 県	329,505	306,080
6	兵 庫 県	328,591	293,559
7	愛 知 県	272,089	263,341
8	富 山 県	229,005	238,855
9	滋 賀 県	201,289	233,445
10	茨 城 県	197,620	195,520
	そ の 他	2,038,925	2,095,251

## 医療用具

順位	都道府県名	生産金額	
		12年	11年
		【百万円】	【百万円】
	全 国	1,486,266	1,487,903
1	栃 木 県	158,554	162,329
2	東 京 都	155,298	176,380
3	静 岡 県	153,759	143,251
4	大 分 県	101,570	75,027
5	千 葉 県	99,330	99,247
6	埼 玉 県	80,624	83,932
7	愛 知 県	64,004	57,096
8	兵 庫 県	58,495	46,991
9	福 島 県	56,225	64,209
10	滋 賀 県	53,652	66,545
	そ の 他	820,161	993,998

県内医療用具生産額、全国1位に二〇〇〇年の本県の医療用具生産額が都道府県とが二十二日、県業務課別で全国1位になつたこ

とが二十二日、県業務課別で全国1位になつたことの調査で分かった。生産額は千五百八十五億四百万元と前年の

千六百一十三億二千九百万元を下回ったが、前年一位の東京都が空洞化の影響などで大幅に落ち込んだため、トップの座が

転がり込んできた格好だ。

県内には、CT(コンピューター断層撮影法)機を主力商品とする「東芝大田原工場」や、針などの医療器具を製造する

本県は、調査を始めた一九九六年から、四年連續で東京都に続ぐ2位にとどまっていた。製造業の業績が軒並み低下する中での一位獲得について、関係者は「企業関係者の努力に加え、医療関係は需要が安定していること、も踏ん張りが利いてい

るのではないか」と分析している。

○○○年の薬事工業生産動態統計によると、栃木県の医療用具生産額が全国一位になった。県内生産額は千五百八十五億五千四百万円と前年に比べ二・三%減少したもの、これまで一位だった東京都がより落ち込んで栃木を下回った。

ここ五年間の栃木の医療用具生産額は千六百億円前後でほぼ横ばいだが、製造所数は二〇〇〇年時点で百四十九年に比べ十増えて

いる。栃木の生産額は全国の一

## 医療用具 2000年、栃木が1位

一%を占める。

県内にはCT(コンピューター断層撮影装置)や磁気共鳴画像装置(MRI)などを生産する東邦那須工場(大田原市)があり、医療用具生産額を押し上げる形になっている。地元企業でも歯科用回転器具のナカニシ、手術用縫合針のマニーといった業界上位の関連メーカーが集積している。

# 第7回 GMP関連研修会

平成14年1月22日(火)ホテルニューイタヤにて開催されました。約150人の参加のもと、会員から4題、薬務課から1題の発表がありました。



「原薬のGMP査察」  
日本理化学薬品㈱ 松波 千賀子 様



「PTP包装機の充填機改善と  
シート検査機の検証」  
三菱ウェルファーマ㈱ 田口 一夫 様



「海外における錠剤定量法への  
近赤外分光法の適用事例」  
グラクソ・スミスクライン㈱ 竹内 雄一 様



「ISO9001・CEマーキング認証取得後の  
監査機関の監査状況等について」  
マニー(株) 関 政啓 様



「ウシ等由来物を原料として製造される医薬品、  
医療用具等の品質及び安全性確保対策について」  
薬務課 主査 山田 雅彦 様

## 賀詞交歓会

GMP関連研修会に引き続き、同ホテルにて賀詞交歓会が開催されました。

### 飯高会長より主催者挨拶

平成14年栃木県薬事工業会賀詞交歓会開演にあたりまして、一言御挨拶申し上げます。  
2002年が幕を明けて早3週間がたちましたが、皆様には、お健やかに新しい年を迎えたことを心よりお喜び申し上げます。

本日は、先ほどまでのGMP関連研修会に引き続き、大勢の方々が賀詞交歓会に参加され、誠にありがとうございます。また、本日は公務多忙の中、福田知事様をはじめとします御来賓の方々に御臨席を賜り、大変光栄に思っております。

さて、昨年は、秋に日本初の狂牛病発生に端を発した「ウシ等由来物」の問題が発生し、私どもの業界にも少なからぬ影響がありました。

さらに、衝撃的なアメリカ同時多発テロに伴い、事業所における、毒物劇物の保管管理等の徹底がなされ、また、会員の中には海外との取引に支障もあった方がいらっしゃると伺っております。

一方、本会の事業につきましては、4月の総会、9月のISO9000シリーズの研修会、10月の高知県への県外優良施設視察研修等、種々の事業活動は県薬務課の小林課長を始め、当局の的確なる御指示と皆様方のあたたかい御支援により、順調に推移しております。

また、第41回栃木県公衆衛生大会、これは本日来ていただいている福田知事様に大会会長をしていただいている会ですが、会員会社より、保健衛生事業功労者として、大会長表彰をマニー㈱の松谷正光様が受賞されました。それと、薬事衛生優良施設として、同じく大会長表彰を中外製薬㈱宇都宮工場様が受賞されております。本当におめでとうございます。本日はこの祝賀会も兼ねてやりたいと思います。

2002年はさらに充実した活動ができる年にしたいと考えておりますので、より一層の御支援を賜りますようお願い申し上げます。  
本年が皆様方にとりまして、希望に満ちた、明るい年になることを祈念しまして挨拶とさせていただきます。



また、今回はお忙しい中御出席下さった福田知事から御挨拶をいただきました。

## 福田知事より来賓挨拶

皆様、新年おめでとうございます。

栃木県薬事工業会賀詞交歓会にあたりまして、一言御挨拶を申し上げます。

栃木県薬事工業会は昭和49年の創立以来、今年で29年目を迎え、創立当時39社であった会員会社も、現在は準会員を含めて86社を数えるまでに発展されました。

それとともに栃木県内においての医薬品等の生産額も年々増加をし、平成12年は医薬品については3,295億円で全国第5位、医療用具については1,586億円で全国第1位の生産額を誇るまでになりました。私といたしましても大変有難く、感謝を申し上げます。

賀詞交歓会会場に着きまして、飯高会長からGMP関連研修会が大変に活発だったというお話をいただきまして、「なるほど、凄いな」と、やはり素晴らしい成果を認められている皆さんにはやる気が違うんだなということを強く感じました。特に、私も昨年中国に行きました、中国の省づくりや国づくりにかける意気込みというか、凄いものを感じてまいりましたけれども、やる気だけでも中国の方々に負けては駄目だという気持ちを強く持って、帰ってきたところであります。

会の活動につきましては、GMPやISOの分野における国内第一線の講師を招いての研修会をはじめ、会員からの研究発表や優良事業所における現地研修会の開催など、大変活発であると伺っております。

また、平成10年8月の豪雨災害をきっかけに県が開始をいたしました避難所等における医薬品等の供給を目的とする「避難所配置用医薬品備蓄事業」を受託いただきましたほか、毎年秋に実施しております「くすりと健康の週間」の事業の一環としての消費者懇談会にも、会員の工場を会場として利用させていただいております。この席をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。

これらの功績に対しまして、昨年度、栃木県薬事工業会が、薬事功労者として厚生大臣表彰を受賞されましたことは誠に喜ばしい限りであります。

早いもので、21世紀の扉が開かれて1年が経過いたしました。

昨年を振り返りますと、IT関連産業の業況悪化など、世界経済の減速や牛海綿状脳症などの影響による国内消費の減退、県内の金融機関の相次ぐ破綻など、大変厳しい経済環境が続き、バブル崩壊後の低迷から未だ抜け出せない状況にあります。

そして、現在の我が国は、政治、経済、社会など様々な面で大きな転換期を迎えていらっしゃいます。

私は、長引く景気低迷や荒れた青少年の行動、誰もが予期し得ぬような犯罪の増加など、経済の混迷や社会問題の深刻化を見ると、これまで私たちを支えてきた社会・経済システムでは、大きな時代の変化に対応しきれないのではないかと危惧しているところであります。

かつて二宮尊徳翁は、自己の能力を最大限に發揮し計画性を持って豊かな生活を築くという「分度」、さらに分度によって産み出した余剰を将来や地域のために投資するという「推譲」という考え方で、人々の暮らしの自立を促し、努力することに対して夢や希望を与えました。

現在のように不透明な時代であればこそ、こうした考えを活かし、確かな理念を持って県土づくりを進めていくことが必要であると考えております。

私は、年の始めに当たり、「分度推譲立県」とちぎをつくりあげて参りたいとの思いを強く抱き、この理念を政策に活かしながら、今出来ることを着実に積み重ねていくことが、全ての県民が豊かで活力に満ちた生活を営み、自然や街並み、そして人々の心が美しくやさしい“活力と美しさに満ちた郷土とちぎ”の実現に繋がるものと確信をいたしております。

薬事工業会の皆様におかれましては、今後とも、県政の推進につきまして引き続き御支援を賜りますよう、お願い申し上げまして御挨拶といたします。

皆様、本日はまことにおめでとうございました。



乾杯の音頭



中締めの挨拶



日研化学(株) 医薬品生産本部長  
佐藤 忠男 様

杏林製薬(株) 専務取締役  
上條 信二 様

# ちょっとイイ話

会員の皆様からの投稿のコーナーです。  
第8回目は、三菱ウェルファーマ(株)さんです。

三菱ウェルファーマ株式会社足利工場は、東の小京都といわれる歴史と文化の街・足利市に1971年11月旧東京田辺製薬株式会社足利工場として操業を開始しました。

『いのちの大切さを尊重し、人々に「健やかでいきいきと輝く生活」に貢献』することを基本理念に掲げ、昨年10月1日より新たなスタートをきりました。

安全性を最優先に、「固形製剤」「軟膏・クリーム剤」「注射剤」等の高品質な医薬品の安定供給、徹底した環境対策を実施し、自然とテクノロジーとの調和を大切にしております。おかげさまで、昨年7月には「ISO14001」の認証を取得致しました。

私たちは、「いのち輝く未来のために～革新・挑戦そして飛躍～」をモットーに行動し、貢献する事を誓います。



## うちの看板むすめ



足利工場のモーニング娘。写真左から…

### 長竹 美奈子さん(製剤第3課)

最近、運動不足を解消するため、お義姉ちゃんの入っているママさんバーの練習に混ぜてもらっています。今後は、ゴルフを始めようと思っています。

### 塙 純代さん(製剤第2課)

冬到来!ちょっと足をのばせば雪景色…。スノーボード歴3年。楽しんだな～これが。とりあえず、ケガだけは注意して、体力の続く限り楽しめます。

### 小平 真由美さん(業務課)

いろいろなところへ旅行に行くのが楽しみです(もちろん温泉付きのところで…).最近、近くのお風呂へ友達と行って楽しんでます。今度は北海道へいきたいなあ～。

次回は、中外製薬(株)さんです。どうぞお楽しみに！

訂正とお詫び：前号の栃葉工だよりの優良従業員表彰の部分で旭光学工業(株)さんの会社名を間違えてしまいました。ご迷惑をおかけして申し訳ありませんでした。

## 編集後記

この1月から工業会事務局の一員となりました安納です。

今回の栃葉工だよりは、今までの2倍となる8ページでの構成となりましたが、周囲の方からの多大な御助力のおかげで無事に完成させることができました。

至らない点もあるかと思われますが、どうぞよろしくお願ひいたします。

発行日 平成14年2月27日  
発行所 栃木県薬事工業会  
宇都宮市戸祭元町1-25  
栃木県保健福祉会館内  
TEL (028)650-6163